



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2022年5月11日発行

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 熊谷祐司/副会長 鶴田秀樹/幹事 森崎正治/SAA 澤井一徳

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

2021-22年度

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

国際ロータリーテーマ

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

5月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
例会 例会 例会

本日のプログラム (5月11日)

藤川 清 会員「Micro Shakerのお知らせ」
伊藤 保 会員「音楽と平和と私」

次回のプログラム (5月18日)

地区協議会報告

第1227回 2022年4月20日 例会記録 (フォレストヒルズガーデン)

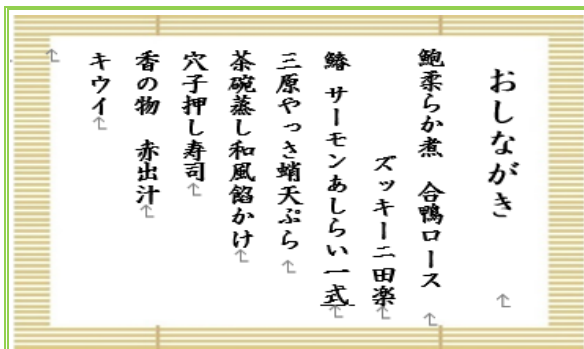
点 鐘 熊谷会長

ロータリーソング「我等の生業」

出席報告

	会員数 名譽・シニア	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (4/20)	27 2	19 0	2	4 2	84.00
メイク	澤井・佐々木				

食事時間



会長時間

皆さんこんにちは。早いもので、ツバメが到来する季節となりました。我が家にもツバメが来て、巣を造り始めました。私は、祖父からツバメは大切にしよう教えられましたから、あまり気になりませんが、女房は、家の壁に巣を造られるのが嫌のようで、ホースで水をかけて応戦しています。



さて、今日はDXについて、お話ししてみたいと思います。小塚荘一郎氏は、「DXとは、デジタル技術と、それに伴うデータの積極的な活用によって、既存の仕組みをデジタルに置き換えるというだけではなく、制度のあり方や人々の行動を変革していくという意味」だと述べています。(商事法務No. 2289、P5)

このDX化を私の職業である登記登録システムを例に考えますと、その実現方法には、大きく分けて2通りがあるように思います。

1つは、登記登録システムを取引システムの一部としてとらえた場合。

これは、上位概念である取引のDX化が、その一部である登記登録システムのDX化を求めるというもので、この時は①登記登録法制の規制を少なくして、大枠だけ定めるものとする(システムで処理するため、結果さえ正しければ中身はブラックボックスで良い)、②人の関与を出来るだけ排除する、③システム構築・運用は取引の態様に合わせて柔軟にアップデー

トできるよう民間委託する、④システムの稼働は、世界が24時間取引しているの、365日24時間とする、等となります。

もう1つは、登記登録システム独自のDX化です。

この時は他システムとの連動は最小限となりますので、①登記登録が一つの法体系を成すためその法律はきめ細かいことまで定めた規制の多いものになる、②人の関与が前提になる、③法により人と人、人と機械の手続きを細かく定めるため、システム構築・運用を民間委託するわけにはいかない、④よって、24時間稼働などとてもできない、等となります。

今、行政で考えられているDX化は後者だと思います。しかしながら、世界の勢が前者のDX化を目指すのであれば、10年後には大きな差として現れるような気がします。日本は益々競争力を失うかもしれません。

(加筆：前者導入の国の人、取引時間が自国では真夜中であっても、休日であっても、昼間のアメリカで自国の自己所有不動産に即時担保設定して融資を受けて、アメリカで資金調達できますが、日本人は自国での担保設定登記申請まで最大2～3日、登記完了まで2週間かかるかもしれません。これでは、日本人が外国で資金調達する際、外国の銀行から自国物件を担保に融資が受けられなくなります。)

本日は、以上です。ありがとうございました。

幹事報告

《配布物》週報1126号・4月理事会報告
卓話資料・会費のお願い(4,5,6月分)
《回覧》今後の例会・行事出欠表
《お知らせ》クールビズ(5月～10月)

卓話時間



三好敏之 会員

「印刷について」

印刷業界

皆様どこも一緒だと思いますが、新型コロナウイルスの影響でイベントも中止になり、観光業や飲食店なども経済活動が停滞しているので印刷業界も売上が減り、県内でもかなり廃業・倒産の会社が出ています。

追い打ちをかけるように、4月から印刷用紙が値上げをしており、全ての印刷資材が15%～20%値上げとなり、さらに厳しさが増しています。また、デジタル化が進み紙離れが続き、印刷物が大きく減少されるという事が予測されます。純粋な印刷物だけを見れば印刷業界の今後はさらに厳しいものとなるという風に全く良いことはありません。

今後の印刷業界を見通す重要な事は、今後減少するであろう印刷業を、いかに非印刷業でカバーするかという事だと思いますが、印刷業界全体で95%以上が、従業員が50人もしくは30人以下の零細企業の会社で、業態を変える事はかなり難しい事で、今後かなり淘汰されていくのではとされているので、あまり明るい兆しは見えません。

三好印刷(株)制作業務

吉本興業が創業110年といわれていますが、三好印刷も今年110年を迎えます。吉本興業に比べると唯々古い小さな会社ですが、何かしようという事で110年のロゴを新しく作り、いろんな事に挑戦しようと考えています。

事例紹介

- ・抗菌印刷
- ・サニーカラーインク(紫外線に反応するインク)
- ・デザイン・印刷
(紙袋・バナー・プラスチックカード・のぼり看板・ダイブテーブル・社旗・クオカード…)
- ・野外ディスプレイ用デジタルサイネージ
(動画撮影・編集・設置)
- ・教育用DVD

・社内報紹介
毎月若いスタッフが、制作事例・自分たちの趣味・思ったことを書いていますので、目を通してやってみてください。

偽造防止の最高の技術をしている日本紙幣の紹介

世界の偽造されにくい紙幣ランキング

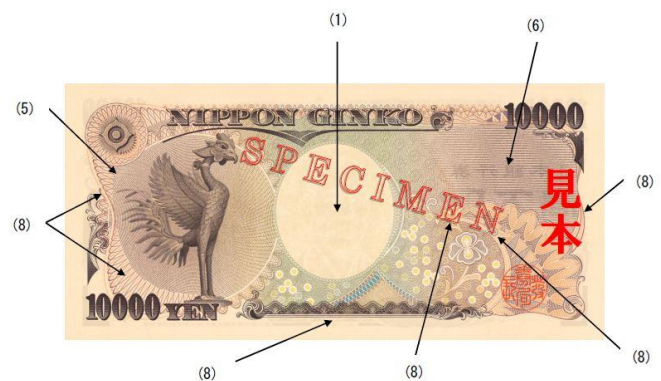
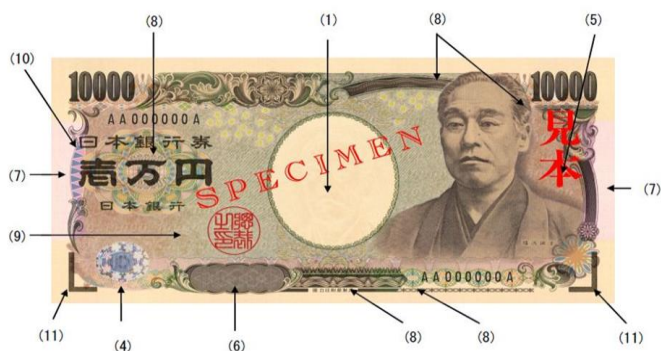
1位 スイス 2位 日本 3位 カナダ

日本のお札は、技術大国である日本らしく様々な偽造防止のための技術が使われています。一番有名なのは、お札中央の「透かし」ですが、他にも、肖像画の顔や「日本銀行券」といった文字、額面はすべて非常に細かい線や点で描かれているので、カラーコピー機などでは際限が不可能。また、拡大鏡を使っても見えづらいほどの小さな「NIPPON GINKO」という文字があちこちに散りばめられていたり、紫外線を当てると表の印章部分や「NIPPON」の文字だけが光る特殊発光インキなども使われています。

日本紙幣

サイズ：76×160mm

発行開始日：平成16（2004）年11月1日



偽造防止技術の詳細

(1) すかし 日本銀行券（E一万円券）の場合

・すき入れ…光に透かすと、肖像などの図柄が見えます。

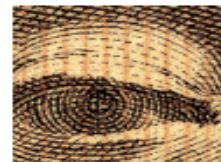
現行の日本銀行券には、偽造防止策の1つとして「すかし」が施されています。「すかし」は、紙の厚さを部分的に薄くする「白すかし」と、逆に部分的に厚くする「黒すかし」があり、日本銀行券には、この両者を組み合わせた精巧な「白黒すかし」が使われています。手抄き和紙の伝統技術に支えられたわが国のすき入れ技術は、濃淡の差がシャープで立体感があり、世界ナンバーワンと言われています。



(2) 超細密画線

・微細点…転写等による偽造を防ぐため、微細な穴加工を行っています。

・微細線…転写等による偽造を防ぐため、微細な線模様を施しています。



(4) ホログラム

角度を変えると画像の色や模様に変化して見えます。



(桜の模様)



(額面金額)



(日本銀行の「日」の文字を
図案化したマーク)

(5) すき入れバーパターン

光に透かすと、すき入れられた3本の縦棒が見えます。従来のすかしよりも、パソコンやカラーコピー機等で再現しにくいものです。

一万円札に3本、五千円札に2本、千円札に1本

E一万円券



E五千円券

E千円券



(6) 潜像模様

お札を傾けると、表面左下に「10000」の文字が、裏面右上に「NIPPON」の文字が浮び上がります。



(表面)



(裏面)



(7) パールインキ

お札を傾けると、左右の余白部にピンク色を帯びたパール光沢のある半透明な模様が浮び上がります。



(8) マイクロ文字

カラーコピー機では再現が困難な微小な文字で、「NIPPON GINKO」と書かれた文字が印刷されています。従来の文字よりも小さい文字を取り入れている他、新たに地紋（細かい曲線などで描かれたお札の地模様）にも大小取り混ぜた文字がデザインされています。

E一万円券



E五千円券



E千円券



D二千円券



(9) 特殊発光インキ

表の印章（日本銀行総裁印）に紫外線をあてるとオレンジ色に光るほか、地紋の一部が黄緑色に発光します。

E一万円券



(10) 深凹版印刷

お札を触って判別できる技術です。

お札の肖像部分などの主な図柄は、凹版印刷という印刷方式が使われています。

料額や日本銀行券という文字には、特にインキを高く盛り上げる「深凹版印刷」が使われ、触るとざらざらした感じがあります。従来のお札よりもインキが表面に盛り上がるように印刷されています。

E一万円券



E五千円券



E千円券



D二千円券



(11) 識別マーク（深凹版印刷）

お札を触って判別できる技術です。

目の不自由な方が指で触って識別できるように、従来の「すかし」に代えて一層ざらつきのある「深凹版印刷」によるマークを導入しています。

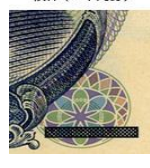
かぎ型（E一万円券）



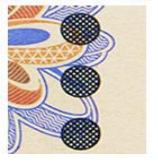
8角形（E五千円券）



横棒（E千円券）



点字の「に」（D二千円券）



その他

こうした人が簡単に偽造券を発見できる技術のほかにも、コピー機やスキャナ等を使った偽造券の作成を困難にする技術、機械読み取りを狙った偽造に対し有効な技術など、お札にはたくさんの偽造防止技術が盛り込まれています。そして、万が一偽造されたとしても、それが必ず偽造券であることをつきとめることができるようになっています。こうした技術は、機械処理における真偽判別の手段としても重要で、現金取扱機器の多い日本の流通環境を支えています。たまに、持っているお札を眺めてみるのも面白いかもしれませんね。